

情報提供日	平成30年(2018年)1月17日(水)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 泉川、田川 栽培・展示課 大矢、濱谷 TEL 082-922-3600

## 今冬初出現！ 「シモバシラ」の氷柱

### 「シモバシラ」という植物をご存知ですか？

霜柱というと、この季節の冷たい早朝に地面をもち上げる「氷の柱」のことですが、実は同じ名前の植物があるのです。シソ科の多年草で、本州西部、四国、九州などの山野に自生しています。

この植物は、春から秋にかけては、緑の葉を持つごく普通の植物の姿をしていますが、冬になり地上部が「冬枯れ」の状態になると、写真のような面白い姿を見せることがあります。

これは、植物体内にある水分が寒さのため凍結して膨張するときに、茎の割れ目からにじみ出ていくことによってできる自然の造形です。その妙技はまるで氷でできた花のよう。

広島市植物公園では、「シモバシラ」を花の進化園に植栽しています。自然現象ですので、いつでも見られるわけではありません。夜間晴れて、気温が氷点下になり、一面に霜が降りているような寒い日の朝がチャンスです。できた霜柱は日が当たって氷がとけるまで（朝10時頃まで、開園は9時から）のはかない現象です。また、この現象はサルビアなど、シソ科の他の植物でも観察することができます。寒い日の朝、8:30～電話連絡していただければ確認できます。



「シモバシラ」についての氷の柱（2018年1月15日に撮影）

開園時間 午前9時から午後4時半まで（ただし、入園は午後4時まで）  
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料  
休園日 毎週金曜日